

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年8月24日	
		作成部署	土木建築部道路総括室	
事業名	一般府道富野荘八幡線 地方道路交付金事業	構想番号	構-19-3	
		地区名	京田辺市大住～松井地内	
概算事業費	約36億円	事業期間	平成5年度～平成21年度	
事業概要	延長 1,520m うち 1,370m (幅員14.0m、車線2車線、両側歩道、バイパス工事) 150m (幅員25.0m、車線4車線、両側歩道、バイパス工事)			
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・現道は幅員が狭く、歩道が未設置なため、車の離合困難や、歩行者や自動車との交錯による速度低下によりCO ₂ 排出増加の一因となっていることから、この改善を図る必要がある。	・バイパス整備、歩道設置により、交通を円滑化し、CO ₂ 総排出量の削減に寄与する。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・建設予定地は田園地域と工業地域が隣接しているため、排水による田園への悪影響を排除する必要がある。 ・工事に伴い発生する建設副産物について、リサイクル及び再資源化に努める必要がある。	・新設する道路側溝に工場雨水が流れるよう計画し、工場雨水が農地に流れ込まないように考慮した。 ・他工事現場より建設発生土を受け入れ、盛土材に使用することにより、再資源化に努める。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・文化財保護法に基づく文化遺産がある。	・工事着手前に文化財発掘調査を実施した。	△
地域の環境像	本事業は、木津川左岸地域に道路を新設する工事で、地形改変を最小限に抑えるとともに、良好な生活環境の形成を図る。			
特記事項	なし			